

＜オプトアウト＞

当院で「たこつぼ型心筋症・たこつぼ型心筋症の疑い」と診断されたことがある患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する説明）

神戸労災病院では、診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施致しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ございません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究の研究対象となることを望まれない患者さん及びご家族は、その旨、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。調査の対象となることに同意をされない場合でも不利益は一切ございません。

【研究課題名】発症に明確なストレス誘因を認めないたこつぼ型心筋症に関する後ろ向き検討

【研究の目的】たこつぼ型心筋症は、急性冠症候群に類似した胸痛と心電図変化で発症し、冠動脈に有意狭窄を持たずに左室収縮不全を来することが特徴です。発症機序については様々な説がありますが、未だ不明です。発症誘因として身体的・精神的ストレスを認めることが多く、ストレス心筋症 (Stress cardiomyopathy) とも言われ、循環器領域におけるストレス性疾患の代表例です。しかしながら、臨床的には、発症に明らかなストレス誘因を認めない症例が散見され、このような発症についての検討は未だ十分に行われていません。

精神的ストレスや身体的ストレスを受けた時に、それに対するストレス反応は個々によって異なりますが、高齢者においてストレス応答はより多様です。現在の日本において独居高齢者の増加が顕著です。増え続ける独居高齢者における抑うつ発症・フレイル・孤独死などは社会問題となりつつあります。独居は疾患の発症や増悪因子となり、独居高齢者の増加が続く日本における課題と考えています。独居がもたらす影響を明らかにすることは、疾患発症・増悪の予測を行う上で、重要であると考えます。

こうした背景から、たこつぼ心筋症とストレスの関係、発症に明らかなストレス誘因を認めないたこつぼ型心筋症の臨床的特徴を、検討させていただきます。

【対象となる方】2010年1月から2022年7月の間に当院において、たこつぼ型心筋症・たこつぼ型心筋症の疑いと診断された方。

【使用する診療情報】カルテ情報：診断名、年齢、性別、独居・同居の別、既往歴・併存症、身体所見、血液検査、内服治療内容、心臓超音波検査、心臓カテーテル治療内容、発症後の経過など。

【個人情報の保護】利用する情報からは、お名前・住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【当院研究責任者】神戸労災病院 循環器内科 安富真道

【問い合わせ先】〒651-0053 神戸市中央区籠池通4丁目1-23

Tel: 078-231-5901（病院代表）